

デジタル技術を活用し、ひろしまの農業を変えていく

「ひろしま型スマート農業プロジェクト」(愛称:ひろしま seed box)

3 テーマの実証プロジェクトが決定・県外からも多くの企業が参加

広島県では、農業分野でのDXの一環として、収益性の高い経営モデルを確立する「ひろしま型スマート農業プロジェクト」の取組を進めています。

このたび、広島県内で広く導入が見込める3つのテーマで、課題解決を図るための提案を県内外から広く募集したところ、15の企業グループから提案があり、実証プロジェクトを決定しました。

また、県民の皆様にしみを持ってもらうために「ひろしま型スマート農業プロジェクト」の愛称を、「ひろしま seed box」と命名しました。

「ひろしま seed box」の由来：苗箱 (seed box) の中で種が発芽し大きく育っていくように、スマート農業の種 (アイデア等) が広島県の農業を大きく変える技術に育っていくイメージ

1 テーマごとのプロジェクト選定結果

提案件数 15 件(テーマ1が6件、テーマ2が4件、テーマ3が5件)

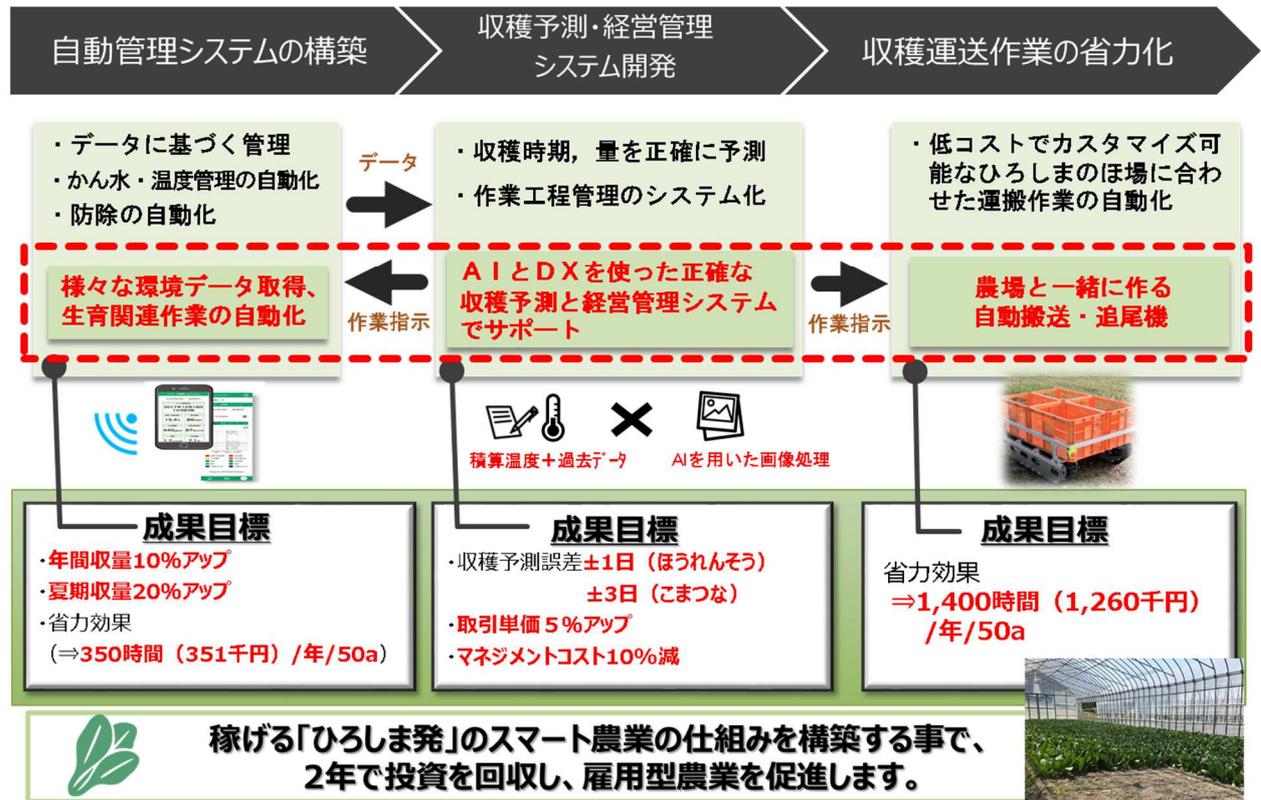
テーマ	企業グループ (※は県内企業)	実証プロジェクトの概要		
		特徴	主な実証技術	実証地区
1	<ul style="list-style-type: none"> 三栄産業(株)※ (株)ニッポー 山梨大学 (株)CuboRex 	中山間地域の狭小ハウスに合わせた低コストな栽培管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 自動搬送・自動追尾ロボットによる搬送の省力化 収穫予測システムによる有利販売 経営管理システムによる作業工程の可視化 データ駆動型ハウス管理による収量向上 	山県郡 安芸太田町
2	<ul style="list-style-type: none"> 日本ユニシス(株) (株)NTT アグリテクノロジー 三栄産業(株)※ (株)ニシザワ (株)メディカル青果物研究所 	分散した農地に対応した作業の省力化、生産と流通の情報を連携させるシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 自動収穫機による収穫作業の省力化 自動かん水システムによる省力化及び収量向上 収穫予測システムによる労働力の適正配分と効率的な販売計画の作成 需要予測データの生産計画への反映 	東広島市 志和町
3	<ul style="list-style-type: none"> (株)エネルギー・コミュニケーションズ※ 山梨大学 ドリームファーム(株) arrow(株) ひろぎんエリアデザイン(株)※ 	新規雇用者でも正確な作業が可能な栽培管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> AI解析に基づくスマートグラスによる摘粒作業の効率化 AIによる出荷時の等級判定の平準化 自動施肥かん水システムによる省力化及び収量向上 ドローンやセンサー活用によるリアルタイムセンシング 	世羅郡 世羅町

2 スケジュール

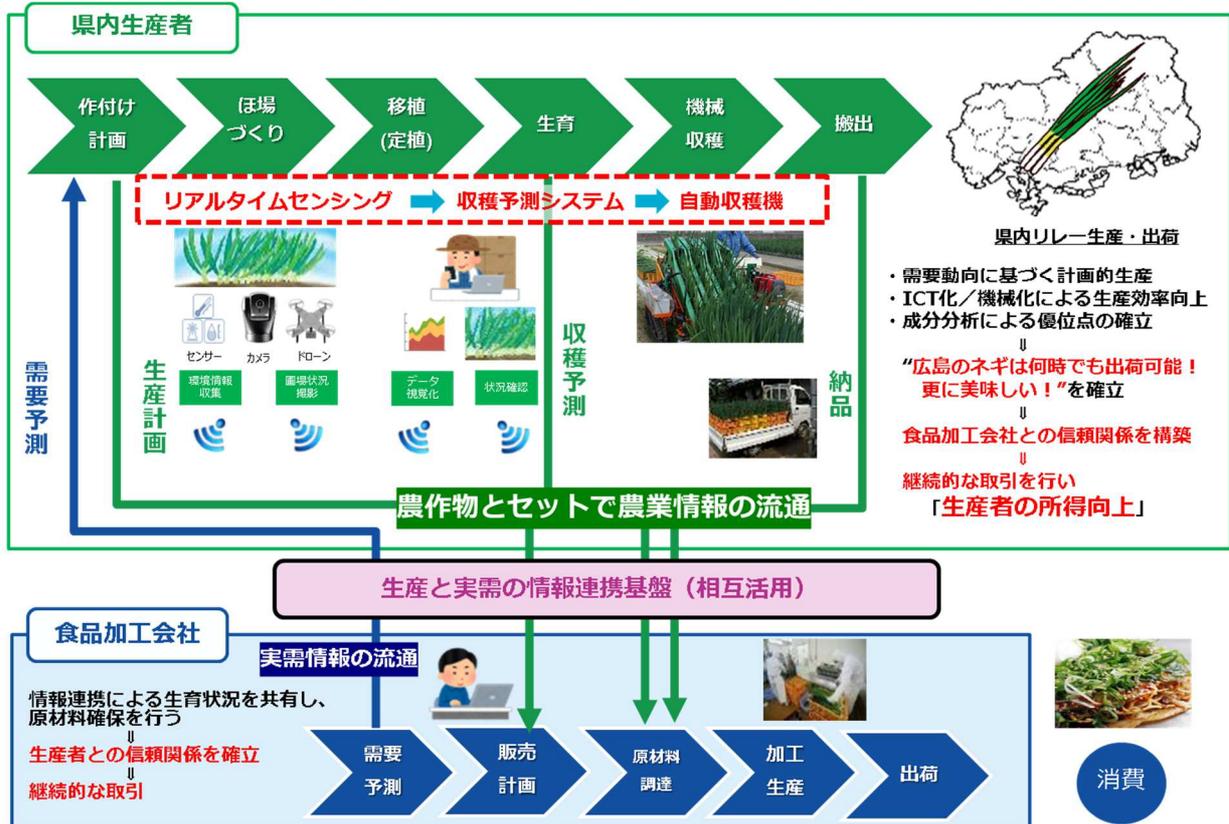
- ・今月末から順次実証開始(実証フィールドを有する農業者との調整後)
- ・実証は最長で3か年継続します。(最長で令和6年3月31日まで)

【参考】実証プロジェクトごとのイメージ

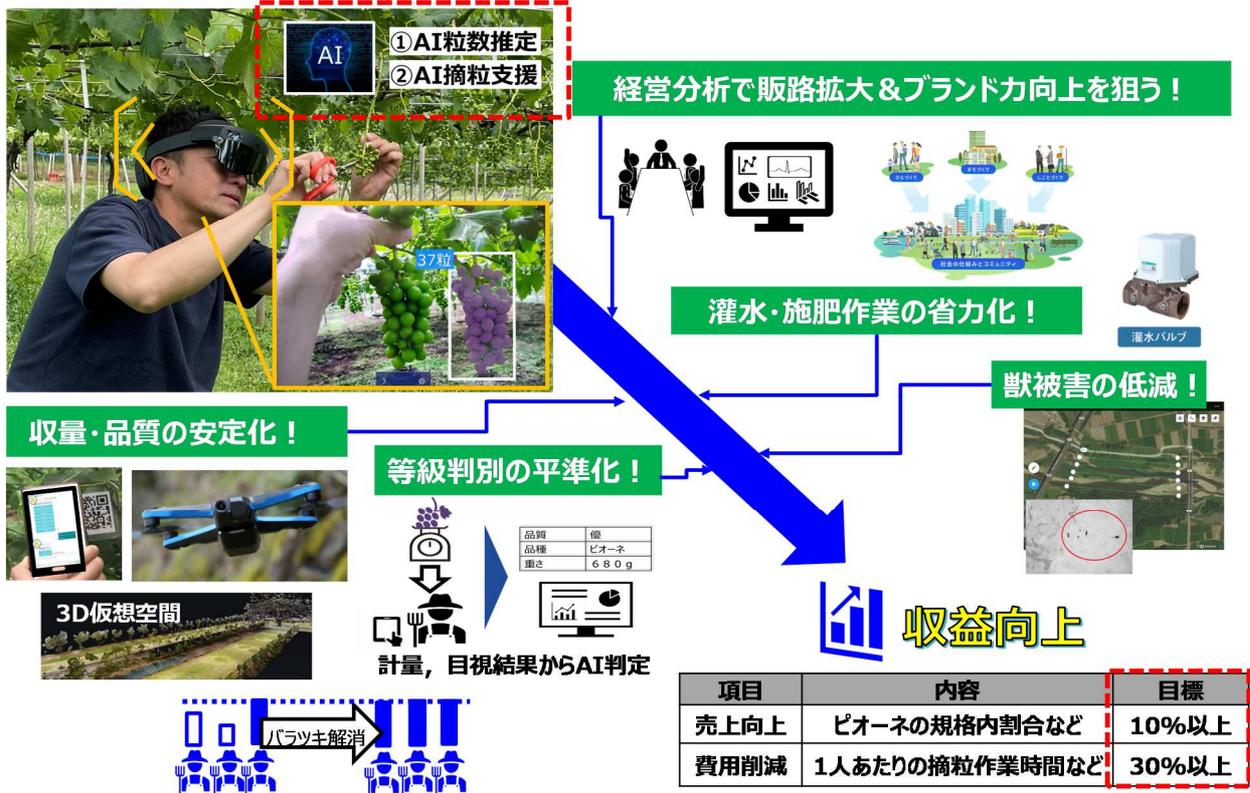
テーマ1：ほうれんそう及びこまつなの栽培から販売までの効率的な一貫体系の構築



テーマ2：カット用青ねぎの露地栽培における効率的な一貫体系の構築



未来に向けた「ぶどう」の大規模農業経営DX



項目	内容	目標
売上向上	ピオーネの規格内割合など	10%以上
費用削減	1人あたりの摘粒作業時間など	30%以上